

暮らしやすい鈴蘭台のまちをめざして...

# 駅前まちづくり ニュース

発行：鈴蘭台駅前再開発検討部会



平成 12 年 1 月 11 日

4

号

## 新たな参加者を加えて、勉強会を開催！

12月14日(火)午後7時30分より、勉強会を開催しました。

新たに3名の参加者が加わり、活発な意見交換となりました。

これまでの意見のおさらいをして、最近のミニ・バスの事例や駅周辺の駐車場の立地なども確認しました。

## ● 第4回勉強会での意見等 ●

### 駅前広場の こと

- 車をためるより、循環させることが大切ではないか。
- 広い駅前広場は、人が集まればいいが、人がいないと寂れた感じがする。
- 人が集まり、溜まる場所として駅前広場は必要だと思う。
- 車対応をあまり考えないで、神戸電鉄の利用者をどれだけ呼び込めるかを考えるべきだと思う。
- 鈴蘭台は車社会に対応しておらず、進入路も狭い。タクシーやバスの利用勝手をよくしないと鈴蘭台はよくなる。

### 駅ビルの こと

- 駅前に広場をつくるには、やはり駅ビルは必要だろう。
- 1つのビルで総合的なサービスが確保できれば便利になるだろう。
- 駅の改札からスムーズにつながる工夫が必要である。
- 鈴蘭台駅前のことだけを考えれば、駅ビルは必要。活性化するのであれば、現在の数倍の規模が必要だと思う。
- 神戸北町など既存の郊外店があるため、鈴蘭台駅前にそんなに大きな駅ビルは必要ないと思う。
- 鈴蘭台は、まち全体の活性化=まちおこしが必要。1つのビルをつくって終わりではない。
- 核テナントの撤退が新聞にも掲載されている。駅ビル=核テナントは、慎重に考えなければならない。

### にぎわいの こと

- 鈴蘭台は学生が多いまちだが、学生向けの店などが少ない。
- 学生は通過するだけで、鈴蘭台のまちをあまり利用していない。
- 地域住民をターゲットにするのか、学生をターゲットにするのか、遠くから人を集めるのかで、駅前の将来像が変わってくる。
- 駅前の居住者にとっては、騒がしいとか、不衛生という問題もある。
- クリスマスセールも各店の対応がバラバラでまとまりがない。こんな状態で一緒に駅ビルでやっていけるのか。
- 現在の商業者だけでなく、外部からも新しい業態や人が入ってこない、まちも変わらない。

※裏面に続きがあります。